

報告事項 （１）令和６年度事業報告について

I 総括

令和６年度は、本県で２５年ぶりとなる「福岡・大分デスティネーションキャンペーン」が開催され、その成功に向けて当連盟でもプロモーションや観光素材開発などに取り組んだ。本キャンペーンの経済効果は両県で５０２億円に達したと推計されており、地域経済の振興にとって一定の役割を果たすことができた。

本県の観光状況は、暦年で外国人入国者数が３９６万人（対前年比 39.8%増）、外国人延べ宿泊者数が６９２万人（対前年比 37.3%増）と過去最高を記録した。また、宿泊施設の年間稼働率が７２％まで回復し、稼働率の全国順位も３位となり外国人観光客にけん引される形で、観光客の賑わいが本格化してきた。

こうした中、当連盟では、観光地域づくり支援として、サイクリングツアー造成支援のためのワンストップサポート機能の導入、広域観光エリアのブランディングの支援及び情報発信拠点の整備、サイクルやトレイルの環境整備、観光産業を担う人材育成などに取り組んだ。

国内誘客では、県公式観光サイト「クロスロードふくおか」の発信機能の強化、県内周遊を目的とした宿泊助成、修学旅行需要の回復に向けたキャンペーン、広域観光エリアの情報誌発行などを実施した。また、海外誘客では、県観光情報多言語サイト「Visit Fukuoka」（英、中、韓、台）の利便性の向上及びSNSによる市場別の情報発信、英国、豪州におけるレップ事業、豪州からの教育旅行誘致、当連盟主催の韓国、台湾での観光商談会や現地観光展などへの参加、海外の旅行事業者やメディアの招請などによる誘致活動を実施した。

地域連携DMOである当連盟の機能強化を図るため、マーケティング分析や地域への情報発信の手法などについて外部専門人材によるコーチングを受けた。

II 事業報告

1 観光地域づくり支援	
(1) 地域連携の推進	
①観光資源の開発	
ア 中核拠点整備支援 決算額：１２，０００千円	
広域観光エリアの関係市町村・観光協会等と共に「広域観光エリア情報発信拠点整備協議会」を設置し、エリア内及びエリア間の周遊を促進するために拠点整備を行った。	
○協議会構成メンバー	
宗像市、飯塚市、朝倉市、うきは市、添田町、みやこ町、東峰村、（一財）FM八女、行橋にぎわいづくりパートナーズ、（一社）岡垣町観光協会、（公社）福岡県観光連盟	
イ FUKUOKAサイクリングツアーコンシェルジュ開設 決算額：８，０００千円	
サイクリングツアーを造成する旅行会社などに向けたワンストップサポート機能を全国に先駆け	

て開設し、国内外からのサイクリストの誘客に努めた。また、台湾において現地プロモーションを行った。

○サポート内容

- ・ サイクルルート設定支援
- ・ サイクリストに適した宿泊施設の紹介
- ・ レンタサイクルの紹介及び手配
- ・ サイクリングガイドの手配
- ・ サポートカーの手配
- ・ 輪行業者の紹介及び手配

○九州台湾自転車交流プロジェクトへの参加

開催期間	9月19日～23日
会 場	台湾花蓮市太平洋公園ほか
内 容	ステージイベントやブースにてコンシェルジュ業務の紹介及びチラシの配布によるプロモーションを実施。

サポート依頼件数	目標値	10件	実績	11件	達成率	110%
----------	-----	-----	----	-----	-----	------

ウ 新たな観光地域づくり推進事業（筑前玄海エリア） 決算額：4,500千円

福岡県が新たな観光地域づくり推進事業で設定した広域観光エリアのうち「筑前玄海エリア」の観光資源開発を伴走支援。エリアのテーマである「イカ」で県内外から誘客するため地元の協議会が実施している「イカ王国 筑前玄海イカフェア」（9月14日（土）～11月10日（日））のプロモーションなどを伴走支援。また、イカフェアの目玉となる新たなご当地グルメ「イカ墨まん」「イカメンチ」などの開発を支援した。

○検討会の実施 5月30日、10月21日、2月27日

○イカフェアPRを目的とした知事表敬 9月6日

○ご当地グルメ開発会議 6月4日、7月9日、8月5日、11月19日

フェア参画店舗数	目標値	30店舗	実績	37店舗	達成率	123%
----------	-----	------	----	------	-----	------

エ サイクルツーリズム推進事業 決算額：5,579千円

サイクルツーリズム推進協議会や市町村等と連携して、受入環境の整備を行うとともに国内外から本県を訪れるサイクリングツアーの造成を目的としたモニターライドなどを行った。

○サイクルツーリズム推進協議会

開催日	会場	内容	参加人数
5月30日	県西総合庁舎	福岡県サイクルツーリズム推進協議会総会	39人
10月30日	県西総合庁舎	推進協議会部会／講演	25人
3月21日	県庁内会議室	推進協議会報告会／事例発表	21人

○旅行商品化を目指したモニターライド

実施日	実施場所	コース内容	参加人数
2月14日	宮若市	野見山農園、追い出し猫本舗など	3人

2月19日	朝倉市	やぐるま荘、普門院、林檎と葡萄の樹など	6人
3月6日	飯塚市	飯塚市歴史資料館、嘉穂劇場、正法寺ほか	5人

モニター総参加者数	目標値	12人	実績	13人	達成率	108%
-----------	-----	-----	----	-----	-----	------

オ トレイルツーリズム推進事業 決算額：3,500千円

英彦山を詣でる文化に焦点をあて、修験道プログラムを取入れるなど、テーマ性を持たせた旅行商品の造成に取り組み誘客を行った。

○テーマ：修行

- ・はじめての修験道体験 ～修行を通じて呼び覚ます日本古来の精神性～
- ・霊峰 英彦山へつづく修験の道・秋峰ルートを歩く歴史探訪ハイキング（岩石山編）
- ・霊峰 英彦山へつづく修験の道・秋峰ルートを歩く歴史探訪ハイキング（福智山編）

○テーマ：巡礼

- ・はじめての巡礼体験 ～江戸から令和によみがえる祈りの道～
- ・はじめての巡礼体験 ～江戸から令和によみがえる祈りの道～（神幸祭時期限定）

旅行商品造成件数	目標値	4ツアー	実績	5ツアー	達成率	125%
----------	-----	------	----	------	-----	------

カ 地域連携支援事業 決算額：4,062千円

地域連携、地域マーケティング、デジタル情報発信等、要請のあった地域に連盟職員や外部登用人材を派遣し、業務支援を行った。

また、観光協会等への人流データの提供素材として航空会社が推奨するモバイルアプリケーションを活用した移動データの収集を行った。

○ANAPocketチェックインチャレンジを活用した人流データ分析

羽田空港→福岡空港の移動データ分析

収集人流データ件数	目標値	2,000人	実績	3,520人	達成率	162%
-----------	-----	--------	----	--------	-----	------

キ 九州オルレ支援 決算額：379千円

済州オルレウォーキングフェスティバルに出展し、福岡県6コースのオルレコースに関する情報提供及び九州オルレウォーキングフェスティバル in みやまのプロモーションによる誘客に努めた。

なお、みやま市で開催された九州オルレウォーキングフェスティバルについては、WEBサイトを活用した情報発信も行った。

【済州オルレウォーキングフェスティバル出展】

開催期間	11月7日～8日
会場	韓国済州道済州市フェスティバル特設会場

【九州オルレウォーキングフェスティバル in みやまの参加】

開催日	3月9日
会場	九州オルレみやま・清水山コース

ク 観光磨き上げ支援（万葉歌碑めぐりマップ作成） 決算額：１０，９１０千円

日本観光振興協会の「万葉歌碑魅力発信プロジェクト」を活用し、本県初となる万葉歌碑をテーマにした観光パンフレットの作成を行った。

○「ふくおかで万葉の旅びとになる～筑紫万葉歌碑めぐり～」

監修 國學院大學文学部特任教授 上野 誠 氏

英訳 翻訳家・詩人 ピーター・Ｊ・マクミラン 氏

発行部数 ２，０００部（日本語、英語） ※データとして：繁体字、簡体字、韓国語、仏語

（２）観光基盤の整備**①人材育成****ア 観光ボランティアガイドリーダー育成事業 決算額：３，０８５千円**

初心者向け、中級者向け、上級者向けのガイドスキル実践研修と福岡県内のガイド団体の取り組みを現地に出向いて体験する現地視察研修を行った。

【実践研修】

○初級者向け研修：観光ボランティアガイドスキル研修

講師：インアウトツーリズム研究所 代表取締役 帆足 千恵 氏

○中級者向け研修：「ストーリーを伝える」ガイド手法勉強会

講師：阿蘇ユネスコ世界ジオパーク 事務局次長 渡邊 裕介 氏

○上級者向け研修：海外のお客様に分かりやすく地域の魅力を伝える勉強会

講師：KASANERU 代表取締役社長 ワル・マックス 氏

等級	開催日	研修会場	参加人数
初級	１０月１５日	石橋文化会館 研修室	１３人
中級	７月１９日	門司港レトロ観光物産館 会議室	２６人
中級	７月２０日	飯塚市立岩交流センター 会議室	２１人
中級	９月１９日	石橋文化会館 研修室	１１人
中級	９月２５日	アクロス福岡 会議室	７人
上級	８月２６日	アクロス福岡 会議室	１１人
上級	９月１２日	門司港レトロ観光物産館 会議室	３３人

【視察研修】

実施日	実施場所	研修内容	参加人数
１１月２２日	福岡市	「福岡城址、鴻臚館跡を巡るコース」案内	５７人
１２月５日	北九州市	「小倉城下町を巡るコース」案内	７５人

【全体研修】

講師：情報番組レポーター 岡澤 アキラ 氏

実施日	研修会場	研修内容	参加人数
１月１６日	県庁講堂	講演：地域の魅力をどのように伝えるか？	９０人

実践研修総参加人数	目標値	１０５人	実績	１２２人	達成率	１１６％
視察研修総参加人数		１４０人		１３２人		９４％
全体研修参加人数		１００人		９０人		９０％

イ 地域観光コンシェルジュ育成事業 決算額：4,718千円

「自地域について考える」を主要テーマとし、実務に応用できる実践力を習得することに重点を置きワークショップを中心とした育成セミナーを行った。また、県内の取り組みを体験し、自地域に活かすこと、地域連携を強化することを目的に観光案内所及びオーバーツーリズムについて視察研修を行った。

【育成セミナー】

開催日	会場	内 容	参加人数
6月20日	アクロス福岡	観光地域づくり組織の役割を理解する	16人
7月26日	県庁多目的ホール	やさしい日本語勉強会観光客へのマナー啓発	18人
8月22日	県庁多目的ホール	デジタルマーケティング実務	12人
9月18日	県庁多目的ホール	観光データの読み方	17人
10月31日	県庁多目的ホール	I Tを活用した業務効率化	17人
12月2日	県庁多目的ホール	稼ぐ地域／事業者を育てる為にやるべきこと	13人

【視察研修】

実施日	実施場所	研修内容	参加人数
10月25日	八女市	茶のくにツアー体験、FM八女取り組み事例紹介、意見交換会など	5人
12月12日	福津市	豊村酒造見学、寿司アカデミー体験、ひかりのみちDMO取り組み事例紹介、意見交換など	17人

【オーバーツーリズム視察研修】

実施日	実施場所	研修内容	参加人数
2月6日	太宰府市	太宰府市のごみ問題（参道周辺）などの取り組み紹介、太宰府市観光案内所見学、意見交換など	9人

セミナー総参加人数	目標値	90人	実績	93人	達成率	103%
視察研修総参加人数		30人		31人		103%

ウ 観光従事者研修会 決算額：172千円

県内の地域や観光産業の現場では深刻な人手不足やオーバーツーリズムなどの新たな改題に直面しており、それらに対応するため、県内の観光関連従事者と共通認識を持ち、役立つ知識やノウハウの共有の場として研修会を実施した。

講師：株式会社J&J事業創造 開発本部 マネージャー 遊佐 知広 氏

実施日	研修会場	研修内容	参加人数
2月21日	福岡がーでんぱい	SDGs×観光まちづくりに関するカードゲーム	14人

エ 世界に誇る観光地を形成するためのDMO体制整備事業 決算額：2,530千円

観光庁の観光振興事業費補助金を活用し、外部専門人材からのアドバイスを受け、マーケティングの専門知識や経験を持つ人材の育成を行った。

専門人材：一般社団法人みなみあそ観光局 戦略統括マネージャー 久保 堯之 氏

②地域団体助成

ア 県内4地区協議会への助成 決算額：1,400千円

福岡、北九州、筑豊、筑後の4地区観光協議会が地域の観光振興を目的として実施するプロモーションを中心とする事業に対し助成を行った。

イ 県観光温泉地協会への助成 決算額：770千円

県内観光温泉地の振興とプロモーションに取り組む福岡県観光温泉地協会への助成を行った。

ウ 観光地域づくりモデル事業（県観光推進協議会事業）

魅力ある観光資源の創出に取り組む地域に対し、県と共同で「地域の魅力を磨く観光地づくりモデル事業」を実施し、採択事業に対しては現地にて助言等による観光資源の磨き上げの支援を行った。

【新規採択事業】

市町村	採択事業名
糸島市	姫島の人つながり・自然・歴史の魅力あふれる観光地域づくり事業
小郡市	博多の奥座敷「鴨のまちおごおり」の推進体制づくりとコンテンツ開発
筑後市	恋のくに観光推進事業
宮若市	『アウトドアアクティビティ』×『温泉』で多幸感！ ～「ウェルネスツーリズム拠点宮若」のブランディングと線でつながる 観光エリアに向けた推進体制構築～
みやま市	みやまの暮らしに息づいている歴史・文化・自然を活かした観光地づくり
広川町	目指せ！県南の玄関口！『寄り道したくなるまち、広川町』実現事業

【継続事業】

市町村	採択事業名
宗像市	筑前玄海イカ王国 イカフェア
みやま市	Miyama Post in TAIWAN プロジェクト ～訪日台湾人向Instagramの開設とみやま滞在ツアーの実施～
篠栗町	「すぐ行ける森」で「こころとカラダを整える」 ～埋もれている篠栗独自文化の価値の機会創出～
岡垣町	岡垣ほろ酔いバスツアー

2 観光誘客促進

（1）観光情報の発信

①国内向けデジタル情報発信

ア クロスロードふくおか運営・機能強化事業 決算額：11,254千円

福岡県観光情報の公式Webサイトである「クロスロードふくおか」の情報発信機能の強化及びSEO対策も強化し、コンテンツの拡充や旅行者のニーズに合わせた季節ごとの情報発信を行った。

○昨年度に引き続き、別ドメイン（過去に制作した観光に関する特設サイト）のクロスロードふくおかへの一元化

○60市町村の記事作成（概要、スポット、イベント、特産等）の実施

○特集ページの記事作成の実施 など

セッション数	目標値	3,770,000回	実績	6,882,737回	達成率	182%
--------	-----	------------	----	------------	-----	------

イ サイクルツーリズム情報発信事業 決算額：7,805千円

サイクルツーリズムのニーズの高まりを受け、サイクリスト向け観光資源を福岡県が運営するSNS（FB／IG）を活用し、サイクリスト目線で本県サイクルルート等について情報発信を行った。また、サイクルツーリズムデジタルマップの情報更新に加え、新規ルートや周辺エリアの観光情報を掲載するなど利便性の強化を行った。

【情報発信件数】

○Facebook：122件

○Instagram：122件

FB獲得フォロワー数	目標値	100人	実績	52人	達成率	52%
IG獲得フォロワー数		300人		606人		202%

※累計フォロワー数：FB 1,932人 IG 7,146人

ウ トレイルツーリズム情報発信事業 決算額：4,950千円

トレイルツーリズム促進事業でルート整備を行った英彦山巡礼路の「春峰ルート（坂本八幡宮～英彦山神宮奉幣殿）」を活用したモーメント投稿キャンペーンを実施し、モーメント投稿者などにはオリジナル巡礼記念タグの贈呈を行った。また、英彦山巡礼路の看板設置に向けた現状把握と現地調査を行った。

モーメント投稿数	目標値	300件	実績	436件	達成率	145%
----------	-----	------	----	------	-----	------

※モーメント投稿とは：テキストや画像などのコンテンツを投稿する機能

②海外向けデジタル情報発信

ア VISIT FUKUOKA 運営事業 決算額：13,500千円

イ VISIT FUKUOKA における情報発信（飲食店受入環境整備）決算額：1,100千円

多言語サイトである「Visit Fukuoka」の情報発信機能の強化を図るとともに国別の関心事項に基づいた表現や情報提供に努め、文化的なイベントや魅力ある観光地のブログ記事などの発信に取り組んだ。また、インバウンドに対応した協力飲食店等の情報を掲載し、本県を訪れる外国人旅行客に向けた多様な食文化についての情報発信を行った。

○VISIT FUKUOKA 運営事業

- ・観光情報データベースのエラーや不適切部分の修正
- ・クロスロードふくおかの特集及びモデルコース翻訳の実施
- ・九州観光機構「VISIT KYUSHU」との連携（簡体字、繁体字、韓国語）実施

○飲食店受入環境整備

- ・ハラル、ヴィーガン等の食の多様性に対応した事業者（飲食店や宿泊施設）及びWeb掲載記事4本の作成（日本語、英語、繁体字、簡体字、韓国語）

セッション数	目標値	550,000 回	実績	1,199,827 回	達成率	218%
--------	-----	-----------	----	-------------	-----	------

ウ 中国向け情報発信事業 決算額：12,599千円

中国国内において、訪日旅行の主な旅行情報源とされる「WeChat（微信）」、「Weibo（微博）」、「RED（小紅書）」の連盟アカウントにより、本県観光情報の発信及び投票機能を活用したキャンペーンやフォトコンテストを行った。

【情報発信件数】

- WeChat（微信）：60件
- Weibo（微博）：146件
- RED（小紅書）：106件

獲得フォロー数(WeChat)	目標値	設定なし	実績	120 人	達成率	—
獲得フォロー数(Weibo)		9,000 人		9,046 人		100%
獲得フォロー数(RED)		4,500 人		5,663 人		126%

※累計フォロー数：WeChat 21,804 人 Weibo 29,436 人 RED 5,663 人

エ 福岡県WEB観光案内所の運営事業 決算額：17,000千円

旅マエ、旅ナカにおける問い合わせ機能を持つ「WEB観光案内所」を運営し、市場別のアカウントによる観光情報の発信を行った。なお、情報発信においては、コミュニケーションを軸としたユーザーのコメントを引き出す投稿を心掛けた。

【情報発信件数】

- 福岡県公式英語 Facebook「Visit Fukuoka Japan」：208件
- 福岡県公式繁体字 Facebook「愛上福岡縣 すいとーよ」：208件
 - 英語 FB のターゲット：米国、豪州、英国、仏国、シンガポール、マレーシア、タイ、韓国
 - 繁体字 FB のターゲット：台湾、香港
- 福岡県公式英語 Instagram「goodvibes_fukuoka」：208件
 - 英語 IG のターゲット：米国、豪州、英国、仏国、シンガポール、マレーシア、タイ、韓国

【DM問い合わせ件数】

- 英語 Facebook：2,396件
- 繁体字 Facebook：2,110件
- 英語 Instagram：721件

英語 FB 獲得フォロー数	目標値	15,000 人	実績	18,277 人	達成率	121%
繁体字獲得 FB フォロー数		15,000 人		16,509 人		110%
英語 IG 獲得フォロー数		5,000 人		7,260 人		145%

※累計フォロー数：英語 FB 335,068 人 繁体字 FB 70,742 人 英語 IG 18,974 人

③情報誌発行

ア 「クロスロードふくおか」発行事業 決算額：6,000千円

本県の観光情報（観光スポット、四季の祭・イベント等）を掲載した情報誌「クロスロードふくおか」を季刊号として発行し、マスコミ関係、旅行会社、観光関係機関等への情報提供を行った。

- 発行部数：60,000部（各季15,000部）
- ・夏号特集：みんなで楽しむ とっておきの夏のレジャー（6/1 発行）
 - ・秋号特集：スポーツの季節に五感で楽しむ 秋のふくおか新発見（9/1 発行）
 - ・冬号特集：次世代にも語り継ぎたい ふくおか人物伝（12/1 発行）
 - ・春号特集：ふくおかを丸ごと飲み干そう！ ご当地ドリンク（3/1 発行）

イ 「よかもん FUKUOKA」発行事業 決算額：1,760千円

福岡県観光案内パンフレットとして幅広く活用するため観光スポット、イベントカレンダー、アウトドアスポット、交通案内等を網羅した観光パンフレットを改修し発行した。

○発行部数：17,000部

ウ マスメディア等への情報発信

新聞、ラジオ、雑誌等に対し最新の観光情報の提供を行った。

- 西日本新聞「寄り道逸品」
- 南日本放送 モーニングスマイル など

（2）国内誘客

①国内向けプロモーション

ア サイクルモード出展事業 決算額：3,755千円

東京で開催された国内最大のスポーツバイクイベントである「CYCLE MODE TOKYO 2024」にブース出展し、本県が取り組むサイクルツーリズムのプロモーションを行った。

開催期間	4月6日～7日		
会 場	東京ビッグサイト	来場者数	21,823人
内 容	出展ブース内にて、県内サイクルコースの紹介及びセミナーやトークショーを実施。また、SNSアカウントフォロワー獲得のためデジタルアンケートと抽選会を行った。		

アンケート回答数	目標値	500件	実績	563件	達成率	112%
----------	-----	------	----	------	-----	------

イ 県内宿泊助成事業 決算額：142,200千円

旅行需要の喚起及び休日や都市部に集中する宿泊者の分散化を図るため、閑散期の平日における県内宿泊施設に宿泊した旅行者及び宿泊を伴う旅行商品実績に対し助成を行った。

実施期間	12月1日～2月14日（12月28日～1月4日を除く）		
割引金額	宿泊・旅行代金の20%を割引（1人・1泊あたり最大3,000円）		
利用方法	・助成事業登録宿泊施設への直接予約 ・県内に本店、支店、営業所のある助成事業登録旅行会社のツアー商品など		

	・ 楽天トラベル及びじゃらんネットのクーポン取得による予約
宿泊利用 件数	56, 345人泊 内訳：宿泊施設直接予約 23, 314人泊 旅行会社予約 3, 677人泊 OTA予約 29, 354人泊

宿泊利用者数	目標値	40,000人泊	実績	56,345人泊	達成率	140%
--------	-----	----------	----	----------	-----	------

ウ 修学旅行の需要回復キャンペーンおよび旅行会社招請 決算額：43, 877千円

修学旅行の回復のため本県を行程に組み入れた県内外からの修学旅行実施に対し経費の一部であるバス助成を実施した。学校関係者及び旅行会社を対象とした本県のSDGs・ワンヘルス学習に対応した素材を組み込んだモニターツアーを行った。

また、福岡県修学旅行ガイドの内容を改訂のうえ発行した。(2, 000部)

【バス費用助成】

○バス費用助成件数：206件

○バス費用助成台数：795台

【モニターツアー】

実施期間	7月25日～26日
被招請者	18名（学校関係者8名 旅行事業者10名）
視察先	北九州市平和のまちミュージアム、JICA九州、北九州市東田エリア、IKEA福岡新宮店、福岡こども短期大学・日本経済大学など

バス費用助成台数	目標値	800台	実績	795台	達成率	99%
----------	-----	------	----	------	-----	-----

エ 広域観光エリアプロモーション事業 決算額：26, 038千円

本県を訪れる旅行者の長期滞在と観光消費の拡大を目的に、県内6エリア（①筑前玄海、②八女・筑後・広川、③飯塚・嘉麻・桂川、④京築、⑤久留米・うきは・朝倉、⑥日田彦山線BRTひこぼしライン沿線）においてエリアのテーマを軸とした観光情報誌の作成を行った。

また、6エリアの認知度向上と来訪を促進するためSNSによる情報発信をあわせて行った。

【観光情報誌】

○地球の歩き方Special Edition

「食べる」「遊ぶ」「泊まる」を一体的に楽しむ6つのエリア 福岡県

発行部数：30, 000部（48ページ）

【情報発信件数】

○Facebook：179件

○Instagram：179件

○X（旧Twitter）：247件

FBインプレッション数		3,000,000imp		3,472,632imp		116%
IGインプレッション数	目標値	1,000,000imp	実績	1,681,043imp	達成率	168%

Xインプレッション数		1,000,000imp		1,105,579imp		111%
------------	--	--------------	--	--------------	--	------

オ 九州観光素材相談会 決算額：999千円

九州観光機構と連携し、本県観光素材・体験プログラムを取入れた旅行商品の造成を促進するため首都圏等の旅行会社とのマッチング形式による相談会を実施しプロモーションを行った。

○上期九州観光素材相談会（九州観光機構・九州7県・観光連盟等主催）

開催日	開催地	会 場	対応旅行会社
8月21日	東京都	A P 浜松町	14社
8月22日	大阪市	梅田スカイビル スペース36	11社
8月28日	福岡市	電気ビルみらいホール	15社

○下期九州観光素材相談会（九州観光機構・九州7県・観光連盟等主催）

開催日	開催地	会 場	対応旅行会社
2月26日	東京都	A P 東京八重洲	13社
2月27日	大阪市	グランフロント大阪カンファレンスタワー	12社
3月4日	福岡市	電気ビルみらいホール	10社

対応旅行者数（上期）	目標値	35社	実績	40社	達成率	114%
対応旅行者数（下期）		35社		35社		100%

カ 九州修学旅行説明会・相談会 決算額：399千円

東京・大阪・名古屋・広島において、修学旅行誘致を目的に本県の産業、環境、平和学習等の素材及びSDGs素材について、学校関係者及び教育旅行を取扱う旅行会社へプロモーションを行った。

○九州7県合同修学旅行説明会・相談会（九州観光機構・九州7県・観光連盟等主催）

開催日	開催地	会 場	参加人数
8月6日	名古屋市	J Rゲートタワービルカンファレンス	26人
8月7日	大阪市	グランフロント大阪カンファレンスタワー	45人
8月20日	東京都	A P 品川	37人
8月27日	広島市	エールエールA館	15人

総マッチング件数	目標値	60件	実績	62件	達成率	103%
----------	-----	-----	----	-----	-----	------

キ ツーリズムEXPO出展事業 決算額：7,765千円

東京で開催されたツーリズムEXPOジャパンにおいて、広域観光エリア（6エリア）及び「よかバス」の情報発信のため福岡県ブース内に特大パネル等を設置した特設ブースを展開しB to B、B to C両面から情報発信を行った。（九州7県合同ブース出展）

開催期間	9月26日～29日		
会 場	東京ビッグサイト	来場者数	182,934人
内 容	【業界日：26、27日】 事前マッチング及び来場の旅行会社等50社とブース内にて商談を実施。		

【一般日：28、29日】

○ブース内にて6エリアを中心とした体験イベントの実施

- ・津屋崎人形モマ笛絵付け体験（福津市）
- ・酒どころ・久留米のお酒飲みくらべ体験（久留米市）
- ・八女茶を淹れてみよう体験（八女市）
- ・押し花文化発祥の地 大牟田押し花体験（大牟田市）
- ・家具生産日本一の街・大川組子体験（大川市）

○SNSフォローで八女茶、日本酒等の試飲を実施

○九州7県合同イベントとして、7県おすすめの寿司を提供

- ・福岡県提供：福岡のイカ明太軍艦、天然真鯛の漬け軍艦

ブース内商談件数	目標値	30件	実績	50件	達成率	167%
----------	-----	-----	----	-----	-----	------

ク 県外プロモーション事業 決算額：825千円

県外プロモーション向けのパネル作成及び県外で開催されたイベントなどにパンフレットやノベルティなどを提供し誘客活動を行った。

○第19回国内観光活性化フォーラム in 東京

○サイクルモード OSAKA 2025 など

ケ 国内誘客キャンペーン 決算額：1,418千円

連盟で管理するSNSを活用した観光情報の発信及び観光展等で利用するノベルティなどを購入しプロモーションでの活用を行った。

○Facebook：投稿数 10件

○X（旧 Twitter）：投稿数198件

コ 観光物産展での観光キャンペーン 決算額：535千円

全国で開催される福岡物産観光展での県産品のPRにあわせて、県内の観光プロモーションを行い、福岡ファンの増加に取り組んだ。

会 期	会 場	内 容
10月10日～10月15日	東武宇都宮百貨店（栃木県）	同行・協賛
1月16日～1月22日	大和香林坊店（石川県）	同行・協賛
2月19日～2月25日	大和富山店（富山県）	同行・協賛
1月9日～1月15日	ながの東急百貨店（長野県）	協賛
2月20日～3月2日	東武百貨店船橋店（千葉県）	協賛

（3）海外誘客

①対象国別プロモーション

ア 英国日系旅行会社と連携した誘客事業 決算額：22,981千円

英国に支店のある日系旅行会社と連携し、現地ネットワークを活かしたプロモーション活動や英国最大の観光イベントへの出展を行った。

【現地旅行会社セミナー】

開催日	９月１７日		
会 場	Ippudo Central Saint Giles	現地参加者数	１８人
内 容	現地で博多ラーメンを提供する一風堂を会場に、本県の認知度向上につながる観光情報と食の提供によるランチセミナーを実施。		

【現地旅行会社招請】

実施期間	１１月２３日～２７日		
被招請者	３名		
視察先	福岡タワー、櫛田神社、太宰府天満宮、大相撲九州場所、宗像大社など		

【World Travel Market London (WTM) 2024 出展】

開催期間	１１月５日～７日		
会 場	ExCeL London	来場者数	46,316 人

【現地旅行会社向けプロモーション】

- 現地旅行会社セールス：５１社
- ニュースレター配信：２，４９３回（総配信数）
- メディアへの記事掲載：３回
- 旅行商品造成：３社４コース造成

ツアー送客数	目標値	３０名	実績	６９名	達成率	２３０％
--------	-----	-----	----	-----	-----	------

イ ロンドン・パリプロモーション事業 決算額：１，２９３千円

福岡県の訪問団にあわせ英国日系旅行会社連携事業による福岡県観光セミナーに参加しプロモーション活動を行った。

【福岡県観光セミナー】

開催日	５月２４日		
会 場	Cavendish Square（ロンドン市内）	現地参加者数	８０人
内 容	英国で実施するレップ事業の紹介と合わせた観光セミナーを実施。		

ウ 豪州学校関係者・旅行会社招請事業 決算額：８，４３９千円

豪州からの訪日教育旅行誘致を目的とし、現地の学校関係者や教育旅行を取り扱う旅行会社の招請や現地でのプロモーション活動を行った。

【全豪日本語教育シンポジウム】

開催期間	１１月１５日～１６日		
会 場	THE UNIVERSITY OF TECHNOLOGY（シドニー市内）	現地参加者数	１８２人

【JNTO 訪日教育セミナー】

開催日	①２月１８日 ②２月２０日		
会 場	①ARAKAWA JAPANESE Restaurant（ゴールドコースト市内） ②Ginza Miyako（アデレード市内）	現地参加者数	①32 校 39 人 ②27 校 39 人

【教育関係者等の福岡県現地調査ツアー】

実施期間	９月３０日～１０月６日		
------	-------------	--	--

被招請者	豪州学校関係者 6 校 6 名 豪州旅行会社 1 社 1 名
視察先	県内学校視察：福岡県立玄海高等学校、福岡県立光陵高等学校 福岡市立福岡女子高等学校、福岡市立福岡西陵高等学校 私立福岡女学院高等学校、私立福岡大学付属若葉高等学校 私立博多女子高等学校 太宰府天満宮、九州国立博物館、福岡タワー、小倉城、門司港レトロ地区、 トヨタ自動車九州工場など

【現地学校向けプロモーション】

○学校向けニュースレターの配信：4, 156回（総配信数）

県内協力学校数	目標値	5 校	実績	7 校	達成率	140%
---------	-----	-----	----	-----	-----	------

エ 豪州レップ事業 決算額：14,799千円

豪州市場におけるBtoB、BtoCに向けたプロモーション事業を現地に事務所を構える日系の旅行会社と連携し誘客促進を行った。

【現地旅行会社向け 食&観光プロモーションセミナー】

開催日	8月29日		
会 場	GOGYO Surry Hills（シドニー市内）	現地参加者数	33人
内 容	県内の食文化や体験を要素として、人気のグルメや観光情報を紹介するランチセミナーを実施。（八女茶のテイasting、博多ラーメンの提供）		

【現地商談会（Japan Roadshow）参加】

開催日	①8月26日 ②8月27日 ③2月3日 ④2月5日		
会 場	①Dolton House Hyde Park（シドニー市内） ②Pullman Brisbane King George Square （ブリスベン市内） ③The Westin Perth（パース市内） ④Dolton House Hyde Park（シドニー市内）	現地参加者数	①182人 ②101人 ③71人 ④127人

【Japan Expo出展】

開催日	12月14日		
会 場	Sydney Town Hall（シドニー市内）	来場者数	約30,000人

【トラベルジャーナリスト招請】

実施期間	11月1日～6日		
被招請者	1名		
視察先	THE RAIL KITCHEN CHIKUGO、御花、八女福島地区、巨峰ワイン、原鶴温泉、うきは森林セラピー基地、小石原焼伝統産業会館など		

ツアー送客人数	目標値	450人泊	実績	572人泊	達成率	127%
---------	-----	-------	----	-------	-----	------

オ 富裕層向け高付加価値・高単価旅行商品造成事業 決算額：2,000千円

県が実施するインバウンド向け高付加価値・高単価旅行商品造成について現地セミナーなどに参加しプロモーション活動を行った。

【豪州県訪問団における現地セミナー（旅行会社・教育関係者）への参加】

実施日	8月6日		
会 場	Pullman Sydney Hyde Park（シドニー市内）	現地 参加者数	旅行会社 50人 教育関係者 30人
内 容	県観光局が主催するセミナーに参加し、現地参加者との意見交換を行った。		

【Los Angeles Travel and Adventure Show (LATAS) への参加】

開催期間	2月22日～23日		
会 場	ロサンゼルスコンベンションセンター	現地 参加者数	福岡県セミナー 70人
内 容	県観光局が米国レップ事業の一環で実施される LATAS へ参加し、現地セミナーや商談会の対応を行った。		

カ DC素材を活用したインバウンドプロモーション 決算額：27,319千円

県がデスティネーションキャンペーンに向けて整備した観光コンテンツを活用し、ターゲット市場に向けた観光プロモーションを行った。

【中 国】

事業名	中国市場向け魅力発信事業（北部九州連携事業）
実施期間	7月～8月
内 容	FITを意識した情報発信を北部九州連携（佐賀、長崎、大分県）して実施。KOCのRED（小紅書）、Weibo（微博）アカウントをとおして観光コンテンツ情報155本以上の投稿を実施。 ※KOC：キーオピニオンコンシューマー（一般消費者の目線でサービスの体験を発信する人物）

事業名	中国向けインフルエンサー招請（連携事業）
実施期間	10月9日～10月13日
被招請者	2名（中国人KOL）
内 容	大分県、福岡国際空港と連携し、中国のKOLを招請。県内の観光スポット等を撮影し、中国のアカウント（Weibo、RED）及び旅行関連サイトに画像記事と動画の投稿を実施。 ※KOL：キーオピニオンリーダー（特定の分野で影響力を持つ人物）
視察先	E・ZO FUKUOKA、福岡タワー、糸島エリア、門司港レトロ地区、宗像ビーチ乗馬体験など

事業名	青島ジャパンデイ出展		
開催期間	10月26日（土）～27日（日）		
会 場	イオンモール青島	来場者数	約90,000人

内 容	福岡－青島便の復便の決定を受け観光ブースを出展し、BtoC向けのプロモーションを実施。
-----	---

事業名	西安市一般消費者向け観光PRイベント出展
開催期間	12月7日～8日
会 場	西安大悦城
内 容	福岡－西安便の新規就航により、JNTO主催の西安市大型ショッピングモールで開催された観光PRイベントに出展し観光プロモーションを実施。

【韓 国】

事業名	SEOUL SAKE FESTIVAL 2024出展		
開催期間	5月25日（土）～26日（日）		
会 場	ソウル貿易展示コンベンションセンター	来場者数	約 6,000 人
内 容	福岡県観光ブースを出展し、福岡のお酒と観光地とをつなげてBtoC向けにプロモーションを実施。		

事業名	福岡県現地観光説明会・商談会 2024 開催		
開催日	7月9日		
会 場	プレジデントホテルソウル	現地参加者数	51社80人
内 容	訪日旅行商品を取り扱う旅行会社及びメディア向けに説明会とマッチング形式の商談会を実施。福岡県側参加者：15社27人		

事業名	トラベルショーin ソウル出展		
開催期間	10月4日～6日		
会 場	COEX	来場者数	30,563 人
内 容	韓国最大級の観光イベントに出展し、BtoC向けのプロモーションを実施。		

【香 港】

事業名	香港国際旅行展示会（ITE）2024出展		
開催期間	6月13日～16日		
会 場	香港コンベンション&エキシビジョンセンター	来場者数	70,050 人
内 容	香港最大規模の旅行博覧会に出展し、BtoB、C向けのプロモーションを実施。		

事業名	香港ブックフェア 2024 出展（連携事業）		
開催期間	7月18日～22日		
会 場	香港コンベンション&エキシビジョンセンター	来場者数	約 990,000 人
内 容	100万人の来場者が見込まれる香港最大の書籍見本市に熊本県、鹿児島県と合同で観光ブースを出展し、BtoC向けにプロモーションを実施。		

事業名	香港ホリデー&トラベルエキスポ出展		
開催期間	2月20日～23日		
会 場	香港コンベンション&エキシビジョンセンター	来場者数	約 253,000 人
内 容	BtoCをターゲットとした観光イベントに出展し、プロモーションを実施。		

事業名	香港市場向け Kyushu Expressway Pass (KEP) プロモーション事業		
実施期間	10月、11月（撮影時期）		
内 容	<p>香港（福岡在住香港人）で活動する YouTuber を招請し、KEPの利用促進を目的とした動画撮影及び配信を実施。</p> <p>【撮影コース】</p> <p>○筑豊 パワーアップ×癒しの旅 再生回数：39,713回</p> <p>○京築 自然×ご当地グルメ旅 " : 22,990回</p> <p>○久山・篠栗 絶景×ショッピング " : 17,841回</p> <p>○北九州 魅力再発見の旅 " : 24,947回</p> <p>○筑後 里山体験のドライブ旅 " : 18,114回</p> <p>(※再生回数は2/26時点)</p>		

【台 湾】

事業名	高雄市旅行公会国際旅展出展		
開催期間	5月24日～27日		
会 場	高雄展覽館	来場者数	294,602 人
内 容	台湾南部で開催される最大の旅行博覧会に出展し、現地旅行会社と連携した本県の観光プロモーションを実施。		

事業名	福岡県現地観光商談会開催		
開催日	5月28日		
会 場	ホテルメトロポリタンプレミア台北	現地参加者数	34社59人
内 容	<p>訪日旅行商品を取り扱う旅行会社と台湾市場をターゲットとしている県内事業者とのマッチングを目的とした商談会を実施。</p> <p>福岡県側参加者：15社23人</p>		

事業名	福岡県教育旅行説明会開催		
開催日	5月29日		
会 場	台北市大安工業高校視聴教室	現地参加者数	<p>台北市 30人</p> <p>新北市 33人</p>
内 容	台北市、新北市の訪日教育旅行関係者を対象に、現地にて本県教育旅行向けコンテンツなどを紹介する説明会を実施。		

事業名	台湾国際旅行博覧会（TTE）2024出展		
開催期間	5月31日～6月3日		

会 場	台湾貿易センター	来場者数	307,996 人
内 容	台湾で上期に開催される最大規模の観光博覧会に出展し、観光プロモーションを実施。		

事業名	福岡県台湾南部訪日教育旅行説明会開催		
開催日	12月10日		
会 場	台南市曾文家商 図書館	現地参加者数	53 人
内 容	台湾からの訪日教育旅行の拡大を図るため、台湾南部都市（台南市、高雄市、嘉義市、屏東市）の教育旅行関係者向けに現地説明会を実施。		

事業名	台湾旅行会社招請事業		
実施期間	12月18日～21日		
被招請者	4社4名		
内 容	台湾のアップーミドル層をターゲットとする旅行会社の造成担当者を招請し本県の観光コンテンツの視察を行うとともに旅行商品造成による本県への送客も実施。		
視察先	THE RAIL KITCHEN CHIKUGO、御花、うきは白壁の街並み、茶の文化館、八女福島地区、石橋文化センターなど		
商品造成数	4社7商品	送客数(見込み含)	503 人

【東南アジア】

事業名	NATAS2024出展 【シンガポール】		
開催期間	8月16日～18日		
会 場	Singapore EXPO Hall	来場者数	121,472 人
内 容	シンガポール最大級の旅行博覧会にブース出展し、BtoCに向けた観光プロモーションを実施。		

事業名	The JAPAN Rail Fair 2024 出展 【シンガポール】		
開催期間	10月11日～13日		
会 場	JAPAN RAIL CAFÉ 前広場	来場者数	12,100 人
内 容	JR東日本が主催する訪日促進イベントに出展し、BtoCに向けた観光プロモーションを実施。		

事業名	旅行会社招請（連携事業：大分県） 【シンガポール】		
実施期間	11月12日～16日		
被招請者	3社3名		
内 容	訪日リピーター率の高いシンガポール市場をターゲットに、九州旅行の商品造成実績のある旅行会社の担当者を招請。		
視察先	THE RAIL KITCHEN CHIKUGO、小倉城、TOTO ミュージアム、門司港レトロ地区、大川組子ワークショップ、福津エリアなど		

事業名	旅行会社連携プロモーション事業 【シンガポール】		
内 容	現地旅行会社と連携し、BtoC向けのプロモーション活動を実施。 ○SNSによる本県旅行商品の投稿（リーチ数：90,000件（FB、IG）） ○大型旅行博覧会（NATAS）でのプロモーション活動など		

事業名	訪日旅行フェア（FIT）出展 【タイ】		
開催期間	11月8日～10日		
会 場	サイアムパラゴン	来場者数	約 62,000 人
内 容	タイ市場における最大の訪日旅行フェアに出展し、BtoCに向けた観光プロモーションを実施。		

事業名	旅行会社招請（連携事業：大分、熊本県） 【タイ】		
実施期間	12月3日～7日		
被招請者	10社10名		
内 容	本県と直行便のあるタイ市場をターゲットに、募集型ツアーを造成する旅行会社の担当者を招請し、本県の観光コンテンツの視察を実施。		
視察先	E・ZOFUKUOKA、一蘭の森、糸島エリア、巨峰ワイナリーなど		

【その他】

事業名	福岡・大分インバウンド周遊促進キャンペーン		
内 容	DCを契機とした両県の観光誘客の機運の高まりにより、体験コンテンツを訪日外国人旅行者向けにプロモーションするためキャンペーンを実施。 ○キャンペーンWEBページの制作（英語、韓国語、繁体字、タイ語） ○WEBページでのプレゼントキャンペーンの実施（4回） ○Instagramを活用した情報発信（5,343,033imp） ○SNS投稿キャンペーンの実施（1,108投稿）など		

キ 国外出展事業（サイクルツーリズムプロモーション事業） 決算額：473千円

本県のサイクルツーリズム情報（福10ルート、地域のモデルコース）やマップを掲載した多言語向けパンフレットの増刷を行った。

ク 旅行博、商談会等への参加事業

旅行事業者・マスメディア等招請事業 決算額：9,867千円

対象国・地域で開催される旅行博、商談会等へ出展し、本県の観光素材等を効果的に発信による認知度向上や旅行商品造成を働きかけるプロモーション活動を行った。また、マスメディアの招請を行い認知度向上に向けた取り組みを行った。

事業名	陝西省西安市での福岡県観光セミナー・個別商談会への参加 【中国】		
開催期間	3月18日～20日		
会 場	西安皇城豪門ホテル	現地参加者数	40人

内 容	福岡－西安便の就航により、現地旅行会社を対象とした県主催の観光セミナーに参加しプロモーションを実施。		
-----	--	--	--

事業名	マカオM I T E旅行博出展 【マカオ】		
開催期間	4月26日～28日		
会 場	The Venetian Makao Cotai Expo Hall	来場者数	約 37,000 人
内 容	県香港事務所と連携で観光ブースを出展し、BtoCに向けた観光プロモーションを実施。		

事業名	現地福岡県観光セミナーへの参加 【タイ】		
開催日	11月21日		
会 場	Novotel Bangkok on Siam Square	現地参加者数	旅行会社 35団体 メディア 10団体
内 容	県が主催する現地観光セミナーに参加し、BtoBに向けた観光プロモーションを実施。		

事業名	マレーシア市場向けプロモーション 【マレーシア】		
内 容	訪日旅行の需要の高いマレーシア市場をターゲットに、SNSを活用した観光プロモーション及び現地で開催の旅行博覧会において観光情報を掲載したチラシの配布を実施。 ○SNS投稿 リーチ数：146,910人 (Facebook) ○チラシ配布 15,000枚 (MATTA)		

事業名	九州観光説明会・商談会への参加 【インドネシア】		
開催日	9月19日		
会 場	AYANA Mid plaza JAKARTA	現地参加者数	20人
内 容	将来的に訪日旅行客の参加が見込めるインドネシア市場をターゲットに、現地開催の説明会・商談会に参加しBtoBに向けた観光プロモーションを実施。		

事業名	フィンランド旅行博 (MATKA) 出展 【フィンランド】		
開催期間	1月16日～19日		
会 場	Messukeskus	来場者数	約 56,000 人
内 容	北欧最大規模の旅行博覧会に出展し、BtoB、BtoCに向けた観光プロモーションを実施。		

事業名	C' est bon le Japon 出展 【フランス】		
開催期間	2月14日～16日		
会 場	Paris Montreuil Expo	来場者数	12,507 人
内 容	日本の食をテーマとしたBtoCイベントに観光ブースを出展し、本県の食文化や観光スポットなどの紹介による観光プロモーションを実施。		

事業名	DOKOGA TV撮影招請（連携事業：佐賀、長崎県）【アメリカ】
実施期間	12月16日～20日
被招請者	5名（撮影クルー）
内 容	ハワイ州内及びハワイアン航空機内で放映される人気番組の撮影クルーを招請し、北部九州への旅行の動機付けとなるような番組制作と放送を実施。
視察先	ダニエル・ノウエミュージアム、八女大茶園、E・ZO FUKUOKA、MIYABI など

事業名	豪州市場向けプロモーション（連携事業：佐賀、大分、宮崎県）【豪州】
内 容	豪州市場からの誘客を目的に九州各県と連携し、観光プロモーションを実施。 ○現地旅行会社との連携による4県の宿泊を含むツアー造成 ○ツアー集客のための広告によるプロモーション（1/13～2/9） ○旅行会社向けプロモーションの実施（メルボルン市内）（12/11）

事業名	Visit Japan Travel MICE Mart 2024 への参加【国内】		
開催期間	9月26日～28日		
会 場	東京ビッグサイト	商談件数	30件 東アジア 11件 東南アジア 10件 欧米豪 9件
内 容	ツーリズムEXPOと同時開催される国内最大規模の海外旅行会社とのマッチング形式の商談会に参加し、観光プロモーションを実施。		

事業名	九州インバウンド観光説明会・商談会への参加【国内】		
開催日	7月30日		
会 場	AP新橋	商談件数	6件
内 容	在京のランドオペレーター向けに開催された九州合同の説明会・商談会に参加し、観光プロモーションを実施。		

事業名	JNTOインバウンド旅行振興セミナーへの参加【国内】		
開催期間	9月5日～6日	会 場	品川プリンスホテル
内 容	JNTOの海外事務所が一斉に集まるセミナーに参加し、意見交換を実施。		

3 観光関連事業に対する協力

（1）福岡県の物産と観光展

- 福岡物産展（松坂屋名古屋店）
- 第5回大福岡展（東武宇都宮百貨店）
- 福岡うまいもの大会（京王百貨店新宿店）
- 福岡物産展（ながの東急百貨店）
- 大九州展（大和香林坊店）

	<p>○大九州店（大和富山店）</p> <p>○福岡物産展（東武船橋店）</p> <p>○福岡県の物産展（福屋八丁堀本店）</p>
（２）その他事業の後援・協賛	
	<p>○１１９周年日本海海戦記念大会</p> <p>○Nordisk Adventure Challenge in KAMA</p> <p>○観光商談会「観光マッチング２０２５～観光 de 九州～」</p> <p>○第４８回福岡県伝統的工芸品展</p> <p>○令和６年度WEB版「福岡検定」</p> <p>○第５４回西日本菊花体系</p> <p>○第４２回古賀政男記念「大川音楽祭」</p> <p>○第６４回中小企業団体九州大会</p> <p>○第６４回福岡市民の祭り「博多どんたく港まつり」</p>
４ 会 議	
（１）連盟の総会等	
	<p>①定時総会</p> <p>開 催 日：６月１７日</p> <p>報告事項：令和５年度事業報告について</p> <p>令和６年度事業計画及び収支予算について</p> <p>議 事：第１号議案 令和５年度収支決算について</p> <p>第２号議案 理事の選任について</p> <p>②理事会</p> <p>○第１回</p> <p>開 催 日：５月１３日</p> <p>議決事項：第１号議案 令和５年度事業報告及び収支決算について</p> <p>第２号議案 役員候補者の選任について</p> <p>第３号議案 令和６年度定時総会の開催について</p> <p>第４号議案 正会員の承認について</p> <p>○第２回</p> <p>開 催 日：６月１７日</p> <p>議決事項：第１号議案 専務理事の選定について</p> <p>○第３回</p> <p>開 催 日：３月２５日</p> <p>議決事項：第１号議案 令和６年度補正予算（案）について</p> <p>第２号議案 令和７年度事業計画（案）及び収支予算（案）について</p> <p>第３号議案 正会員の承認（案）について</p> <p>第４号議案 組織体制の変更（案）について</p>

(2) 関係団体の会議への出席

- 公益社団法人日本観光振興協会総会
- 一般社団法人九州観光機構総会
- 公益社団法人福岡県物産振興会総会 など

報告事項 令和7年度事業計画及び収支予算について

I 令和7年度の基本方針

1 観光地域づくり支援

国内外の観光客の動向把握と分析を充実させ、観光資源の磨き上げ施策などの企画立案に活用するとともに、分析データとオープンデータを組み合わせた連盟独自のDMP（データマネジメントプラットフォーム）構築を目指す。

観光素材の磨き上げに取り組んできた6つの広域観光エリアの各協議体の自走化に向けて支援を行い、更なる県内周遊の促進を促す。全国初のサイクルツアーのワンストップサポートの機能強化を図り、引き続きサイクルツーリズムの推進に努める。

また、地域の観光基盤の充実を図るため、観光産業を支える人材育成のための研修会、県内4地区で取り組む観光プロモーションの助成等を行う。

2 観光誘客促進

情報発信については、国内外のニーズや関心事に基づいたコンテンツの作成、多様なメディア（ウェブサイト、SNS等）での情報発信により、観光客の誘客促進を図るとともに海外からの誘客強化としてターゲット層を明確にしたデジタル広告の発信を行う。

国内向けプロモーションでは、引き続き閑散期の平日における県内宿泊に対する助成、本県を旅行行程に組み込んだ修学旅行に対する助成を行うことで、観光需要の喚起と平準化に努める。

海外向けプロモーションでは、新たに仏国・米国の現地旅行会社などと連携し、両国において本県の認知度向上と旅行商品の造成を促すとともに、引き続き英国、豪州において現地旅行会社と連携したプロモーション活動により誘客促進を図る。また、豪州においては、本県来訪を目的とした教育旅行の誘致に向けた取り組みを引き続き実施する。東アジア、ASEAN諸国においても現地商談会や旅行博の出展、旅行事業者等の招請などのプロモーションにより誘客事業に取り組む。

3 成果指標

① 必須KPI

指標項目		2021 (R3) 年度	2022 (R4) 年度	2023年 (R5)	2024年 (R6)速報	2025年 (R7)	2026年 (R8)
●旅行消費額 (百万円)	目標	952,120 (-)	510,600 (81,900)	752,000 (137,900)	993,400 (193,800)	1,037,000 (195,105)	1,220,000 (340,000)
	実績	269,191 (-)	551,915 (-)	965,900 (271,000)	1,325,200 (396,500※1)		
●延べ宿泊者数 (千人)	目標	18,692 (4,348)	12,250 (200)	16,130 (2,030)	20,420 (4,260)	21,730 (4,790)	23,440 (5,720)
	実績	9,621 (104)	13,994 (606)	21,120 (5,040)	23,160※2 (6,920※2)		
●来訪者満足度 (%)	目標	78.3 (-)	80.5 (-)	82.8 (-)	85.0 (-)	85.0 (-)	90.0 (97.0)
	実績	81.5 (-)	87.5 (-)	87.7 (94.9)	88.2 (87.9)		
●リピーター率 (%)	目標	60.0 (-)	61.0 (-)	62.0 (-)	63.0 (-)	64.0 (-)	70.0 (-)
	実績	72.6 (-)	63.8 (-)	65.6 (40.1)	65.6 (42.3※3)		

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値、－は、目標値未設定及び実績未収集

※2023年(R5)より暦年での数値

※1 1・2次速報を元に、福岡県推計

※2 2次速報値(R7.6.30確報予定)

※3 アジア地域

【出典】

- ・旅行消費額：観光庁「旅行・観光消費動向調査」、観光庁「インバウンド消費動向調査」及び法務省「出入国管理統計」を基に福岡県算出
- ・旅行消費額（訪日外国人旅行者）：観光庁「訪日外国人消費動向調査」
- ・延べ宿泊者数：観光庁「宿泊旅行統計」
- ・来訪者満足度、リピーター率：「福岡県観光ビッグデータ調査」（アンケート調査）

② その他の目標

指標項目		2021 (R3) 年度	2022 (R4) 年度	2023年 (R5)	2024年 (R6)	2025年 (R7)	2026年 (R8)
●WEBサイト へのアクセス数 (万セッション)	目標	520 (-)	234 (-)	306 (-)	377 (-)	449 (-)	520 (-)
	実績	163 (-)	260 (45)	355 (50)	688 (120)		
●住民満足度 (%)	目標	- (-)	70.0 (-)	70.0 (-)	70.0 (-)	70.0 (-)	70.0 (-)
	実績	59.1 (-)	58.9 (-)	67.5 (-)	70.6 (-)		

※括弧内は、外国人に関する数値、－は、目標値未設定及び実績未収集

【出典】

- ・WEBサイトへのアクセス数：Google Analytics 4
- ・住民満足度：県政モニターアンケート調査

Ⅱ 事業概要

1 観光地域づくり支援

(1) 地域連携の推進 【62,606千円】

① 観光資源の開発

◆ 観光ビッグデータ旅行実態調査事業

携帯電話基地局情報による滞在・周遊状況の調査、WEBアンケートやSNS情報を活用した旅行実態調査、外国人観光客を含めた人流変化のリアルタイムな動向調査に加えクレジットカードによる消費動向調査を実施する。

収集したデータは詳細な分析を行い観光地の磨き上げなど戦略的な観光施策の実施・企画立案に役立てる。

収集・分析したデータの活用として、県内全体の観光戦略の強化のためDMPの構築を目指す。DMPでは各種データ収集・分析データのダッシュボード化、データ分析レポートの作成、データの活用方法の整理などにより、連盟内だけではなく市町村や観光協会・DMO、関係事業者とのデータ共有を行う。

◆ 観光素材開発に取り組む協議体・事業者支援

新たな観光地域づくり事業で観光素材の磨き上げに取り組んできた6つの広域観光エリアそれぞれの協議体及び関連する事業者の自走化に向けた支援を行い、エリア内及び県内への周遊を促進する。

◆ FUKUOKAサイクリングツアーコンシェルジュの設置・運営

サイクリングツアーを企画する旅行会社・個人向けに必要なサービスをワンストップでサポートし、国内外からのサイクリストを誘客するコンシェルジュ機能の強化を図り、更なるサイクリングツアーの誘致を促進する。

◆ サイクルツーリズム推進事業

自転車を活用した観光客の県内周遊と滞在の促進に向けて、地域の取り組みや課題解決を支援する。

(2) 観光基盤の整備 【10,273千円】

① 人材育成

◆ 地域観光コンシェルジュ育成事業

観光案内所スタッフなど観光業に携わる人材を対象に研修会や先進地視察を行う。

◆ 観光ボランティアガイドリーダー育成事業

ガイド能力のスキルアップや新たなガイド人材開発のための研修会等を実施する。

◆ **観光協会・DMO等連絡協議会**

県内の観光協会及び地域連携・地域DMOとの課題共有及びネットワーク強化を図るため研修会等を実施する。

② **地域団体助成**

◆ **県内4地区観光協議会への助成**

県内4地区の観光協議会で取り組むプロモーションや研修会の経費に対して助成を行う。

◆ **観光地域づくりモデル事業**

市町村、観光協会、事業者等で構成された協議会が行う観光素材探しや素材磨きに対して助成を行う。

2 **観光誘客促進**

(1) **観光情報の発信** 【91,652千円】

① **国内向けデジタル情報発信**

◆ **クロスロードふくおか運営事業**

福岡県観光情報の公式サイト「クロスロードふくおか」では、見てもらえる観光WEBサイトを目指し、地域の特色を活かした魅力あるコンテンツの拡充やターゲットとなる観光客層を明確にし、それぞれに合った情報の発信などにより観光客の誘致や周遊促進を図る。

◆ **SNS等を活用した情報発信事業**

観光地や地域の魅力を広く発信するため、ターゲット層に合わせたプラットフォームを選択し、視覚的なコンテンツを中心に画像や動画を活用して情報発信を行う。

② **海外向けデジタル情報発信**

◆ **デジタルターゲット広告事業** 

ターゲット層が多く利用しているSNSや検索画面に表示されるアドセンス広告により、本県の認知度向上とWEBサイトへの誘導により誘客を促進する。

◆ **VISIT FUKUOKA運営事業**

グローバルサイトVISIT FUKUOKA（英・中・韓・台）では、国別の関心事項に基づいた表現や情報提供に努め、文化的なイベントや魅力ある観光地のブログ記事などの充実に取り組む。また、インバウンドに協力的な飲食店などの情報を掲載し、ユーザーに役立つサイト運営を目指す。

◆ 中国向け情報発信事業

中国市場における個人旅行の増加傾向や本県の認知度が低いという現状を踏まえ、個人旅行者への情報発信の強化のため、中国国内で利用者の多い「WeChat（微信）」、「Weibo（微博）」、「Red（小紅書）」の3つのアカウントを活用し、福岡の認知度向上と誘客促進を図る。

③ 情報誌発行

◆ 「よかもんFUKUOKA」発行事業

観光情報とモデルコースを掲載した“福岡観光案内パンフレット”として広く活用してもらうため、人気のある観光情報を掲載し発行する。

(2) 国内誘客 【222, 247千円】

① 国内向けプロモーション

◆ 県内宿泊助成事業 

閑散期における旅行需要の喚起及び休日や都市部に集中する宿泊者の分散化を図るため、閑散期の平日における県内宿泊施設（政令市を除く）に宿泊した旅行者に助成を行い、県内各地への周遊促進を図る。

◆ 修学旅行の需要回復キャンペーン

県内外の学校が本県を行程に組み込んだ修学旅行を実施する場合のバス費用を助成する。また、SDGs・ワンヘルス学習に対応した修学旅行用プログラムのモニターツアーを実施する。

◆ 九州修学旅行説明会・相談会

東京・大阪・名古屋地域を対象として、九州が一体となって平和、歴史、産業、環境等の修学旅行用素材を活用したプロモーションを実施する。

◆ 九州観光素材相談会

県内の最新観光情報などを集めた素材集をもとに、東京・大阪・福岡において、旅行会社を対象に九州が一体となってプロモーション、商談会を実施する。

◆ ツーリズムEXPO出展事業

9月に愛知県で開催される国内最大の旅行イベントであるツーリズムEXPOに九州合同で参加し、最新の観光情報などのプロモーション活動を積極的に展開する。また、BtoB商談会においては、市町村や観光協会と連携しプロモーション活動を実施する。

◆ サイクルモード出展事業

東京で開催される国内最大のスポーツバイクイベントである「CYCLE

MODE TOKYO 2025」にブース出展し、福岡県が取り組むサイクルツーリズムの積極的なプロモーションを実施する。

◆ **観光物産展での観光キャンペーン**

全国で開催される福岡県観光物産展での県産品のPRに併せ、県内の観光プロモーションも行い、福岡ファンの増加を目指す。

(3) 海外誘客 【119, 192千円】

① **海外向けプロモーション**

◆ **仏国・米国日系旅行会社と連携した誘客事業** **新**

仏国・米国に支店等を構える日系の旅行会社と連携し、認知度を向上させるため現地でのネットワークを生かしたプロモーション活動を行い、将来的な旅行商品の造成を促す。

◆ **英国日系旅行会社と連携した誘客事業**

英国に支店等を構える日系の旅行会社と連携し、現地でのネットワークを活かした積極的なプロモーション活動により、本県の認知度向上と旅行商品の造成を促す。

◆ **豪州の学校関係者・現地旅行会社の招請事業**

豪州から訪日教育旅行誘致を図るため、現地の学校関係者や教育旅行を取り扱う旅行会社を招請し、ニーズに合った本県の教育旅行素材などを視察する。

◆ **豪州レップ事業**

豪州の現地事業者と連携し、旅行関係事業者に向けたセールス、情報提供、DM送付、セミナー、現地での商談会の参加、FAMトリップなどを実施する。また、メディア向けにもセールスや情報提供を積極的に行い、本県の認知度向上と旅行商品造成を促す。

◆ **DC素材を活用したインバウンドプロモーション**

【東アジア向けプロモーション（韓国、中国、香港、台湾）】

韓国：現地商談会の開催、トラベルショーへの出展により、B to B、C向けのプロモーションを実施。

中国：ファムトップにより旅行関係事業者やメディア・インフルエンサーなどを招請し観光素材の視察を行う。

香港：観光旅行博への出展やインフルエンサーの招請によるプロモーションを実施。

台湾：現地商談会の開催、観光旅行博への出展、ファムトリップなどにより、B t o B、C向けのプロモーションを実施。

【東南アジア向けプロモーション（シンガポール、タイ、マレーシア）】

シンガポール：トラベルショーへの出展や旅行関係者などの招請によるプロモーションを実施。

タイ：現地商談会の開催、トラベルショーへの出展により、B t o B、C向けのプロモーションを実施。

マレーシア：旅行関係者などの招請などのプロモーションを実施。

収 支 予 算 書(正味財産増減計算書ベース)
令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度予算額	前年度予算額	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 受取会費	14,920,000	14,610,000	310,000	
正 会 員 費	14,920,000	14,610,000	310,000	
② 事業収益	200,000	200,000	0	
広 告 収 入 金	150,000	150,000	0	
受取事業助成金	50,000	50,000	0	
③ 受取補助金	596,067,000	527,996,000	68,071,000	
受取福岡県補助金	596,067,000	527,996,000	68,071,000	
④ 受取負担金	0	13,314,000	△ 13,314,000	
受 取 負 担 金	0	13,314,000	△ 13,314,000	
⑤ 雑収入	10,000	10,000	0	
受 取 預 金 利 息	10,000	10,000	0	
経 常 収 益 計	611,197,000	556,130,000	55,067,000	
(2) 経常費用				
① 事業費	606,975,000	552,026,000	54,949,000	
役 員 報 酬	13,245,000	13,263,000	△ 18,000	
給 与 手 当	67,941,000	64,920,000	3,021,000	
退職給付費用	765,000	699,000	66,000	
福利厚生費	9,734,000	9,611,000	123,000	
旅 費 交 通 費	15,291,000	15,243,000	48,000	
通 信 運 搬 費	3,076,000	2,709,000	367,000	
事務機リース費	1,800,000	2,140,000	△ 340,000	
消耗品費	1,550,000	2,402,000	△ 852,000	
印刷製本費	9,079,000	8,684,000	395,000	
賃借料	1,876,000	3,639,000	△ 1,763,000	
保険料	140,000	200,000	△ 60,000	
諸謝金	250,000	1,984,000	△ 1,734,000	
委託費	477,016,000	421,477,000	55,539,000	
租 税 公 課	500,000	500,000	0	
支払負担金	2,420,000	2,420,000	0	
支払助成金	1,600,000	1,600,000	0	
支払手数料	490,000	396,000	94,000	
雑 費	202,000	139,000	63,000	
② 管理費	4,222,000	4,104,000	118,000	
役 員 報 酬	1,151,000	1,152,000	△ 1,000	
給 与 手 当	573,000	561,000	12,000	
退職給付費用	85,000	78,000	7,000	
福利厚生費	187,000	187,000	0	
会 議 費	1,500,000	1,400,000	100,000	
旅 費 交 通 費	323,000	293,000	30,000	
通 信 運 搬 費	67,000	60,000	7,000	
事務機リース費	39,000	46,000	△ 7,000	
消耗品費	34,000	52,000	△ 18,000	
印刷製本費	197,000	178,000	19,000	
賃借料	41,000	76,000	△ 35,000	
租 税 公 課	11,000	10,000	1,000	
支払手数料	10,000	8,000	2,000	
雑 費	4,000	3,000	1,000	
経 常 費 用 計	611,197,000	556,130,000	55,067,000	
当 期 経 常 増 減 額	0	0	0	
2 経常外増減の部				
1) 経常外収益				
経 常 外 収 益 計				
2) 経常外費用				
経 常 外 費 用 計				
当期経常外増減額				
当期一般正味財産増減額				
一般正味財産期首残高	4,500,000	4,500,000		6年度決算見込
一般正味財産期末残高	4,500,000	4,500,000		
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額				
III 正味財産期末残高	4,500,000	4,500,000		

収支予算書内訳表
令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 受取会費	7,460,000	7,460,000	14,920,000
正会員費	7,460,000	7,460,000	14,920,000
② 事業収益	200,000		200,000
広告収入	150,000		150,000
受取事業助成金	50,000		50,000
③ 受取補助金	596,067,000		596,067,000
受取福岡県補助金	596,067,000		596,067,000
④ 雑収入	10,000		10,000
受取預金利息	10,000		10,000
経常収益計	603,737,000	7,460,000	611,197,000
(2) 経常費用			
① 事業費	606,975,000		606,975,000
役員報酬	13,245,000		13,245,000
給与手当	67,941,000		67,941,000
退職給付費用	765,000		765,000
福利厚生費	9,734,000		9,734,000
旅費交通費	15,291,000		15,291,000
通信運搬費	3,076,000		3,076,000
事務機リース費	1,800,000		1,800,000
消耗品費	1,550,000		1,550,000
印刷製本費	9,079,000		9,079,000
賃借料	1,876,000		1,876,000
保険料	140,000		140,000
諸謝金	250,000		250,000
委託費	477,016,000		477,016,000
租税公課	500,000		500,000
支払負担金	2,420,000		2,420,000
支払助成金	1,600,000		1,600,000
支払手数料	490,000		490,000
雑費	202,000		202,000
② 管理費		4,222,000	4,222,000
役員報酬		1,151,000	1,151,000
給与手当		573,000	573,000
退職給付費用		85,000	85,000
福利厚生費		187,000	187,000
会議費		1,500,000	1,500,000
旅費交通費		323,000	323,000
通信運搬費		67,000	67,000
事務機リース費		39,000	39,000
消耗品費		34,000	34,000
印刷製本費		197,000	197,000
賃借料		41,000	41,000
租税公課		11,000	11,000
支払手数料		10,000	10,000
雑費		4,000	4,000
経常費用計	606,975,000	4,222,000	611,197,000
当期経常増減額	-3,238,000	3,238,000	0
2 経常外増減の部			
1) 経常外収益			
経常外収益計			0
2) 経常外費用			
経常外費用計			0
当期経常外増減額			0
当期一般正味財産増減額			0
一般正味財産期首残高			4,500,000
一般正味財産期末残高			4,500,000
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額			0
III 正味財産期末残高			4,500,000

令和6年度 収支決算について

貸 借 対 照 表
令和7年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	32,070,945	33,756,831	△ 1,685,886
現金	63,580	44,408	19,172
普通預金福岡銀行博多駅前支店	21,754,474	26,324,060	△ 4,569,586
普通預金筑邦銀行福岡支店	2,248,486	1,982,660	265,826
普通預金西日本シティ銀行本店	8,004,405	5,405,703	2,598,702
未収金	10,910,750	2,656,000	8,254,750
前払金	130,900	0	130,900
流動資産合計	43,112,595	36,412,831	6,699,764
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
退職給付引当資産	9,056,443	8,277,024	779,419
特定資産合計	9,056,443	8,277,024	779,419
固定資産合計	9,056,443	8,277,024	779,419
資産合計	52,169,038	44,689,855	7,479,183
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	20,378,636	16,159,561	4,219,075
預り金	1,393,590	1,276,863	116,727
流動負債合計	21,772,226	17,436,424	4,335,802
2. 固定負債			
退職給付引当金	9,056,443	8,277,024	779,419
固定負債合計	9,056,443	8,277,024	779,419
負債合計	30,828,669	25,713,448	5,115,221
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産	21,340,369	18,976,407	2,363,962
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	21,340,369	18,976,407	2,363,962
負債及び正味財産合計	52,169,038	44,689,855	7,479,183

正味財産増減計算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	2,389	138	2,251
特定資産受取利息	2,389	138	2,251
受取会費	14,660,000	13,990,000	670,000
受取会費	14,660,000	13,990,000	670,000
事業収益	306,626	313,697	△ 7,071
事業収益	6,626	13,697	△ 7,071
広告収益	300,000	300,000	0
受取補助金	527,996,000	541,177,000	△ 13,181,000
受取福岡県補助金	527,996,000	541,177,000	△ 13,181,000
受取負担金	21,251,343	13,991,832	7,259,511
受取負担金	21,251,343	13,991,832	7,259,511
雑収益	99,689	1,987,788	△ 1,888,099
受取預金利息	99,634	2,288	97,346
雑収益	55	1,985,500	△ 1,985,445
経常収益計	564,316,047	571,460,455	△ 7,144,408
(2) 経常費用			
事業費	557,807,046	566,629,021	△ 8,821,975
役員報酬	13,221,688	13,260,324	△ 38,636
給料手当	70,279,191	75,544,856	△ 5,265,665
退職給付費用	701,477	187,644	513,833
福利厚生費	9,694,353	9,189,431	504,922
旅費交通費	17,955,142	18,871,395	△ 916,253
通信運搬費	3,257,523	3,263,203	△ 5,680
消耗什器備品費	2,703,403	3,419,430	△ 716,027
消耗品費	2,620,618	2,135,400	485,218
印刷製本費	9,696,509	10,713,086	△ 1,016,577
賃借料	3,717,725	2,345,346	1,372,379
保険料	120,470	239,670	△ 119,200
諸謝金	1,531,648	589,336	942,312
租税公課	318,645	323,269	△ 4,624
支払負担金	2,370,000	2,375,000	△ 5,000
支払助成金	1,400,000	1,400,000	0
委託費	416,634,603	421,602,530	△ 4,967,927
支払手数料	1,261,077	1,072,345	188,732
雑費	322,974	96,756	226,218
管理費	4,145,039	3,709,707	435,332
役員報酬	1,149,712	1,153,036	△ 3,324
給料手当	551,760	543,722	8,038
退職給付費用	77,942	20,834	57,108
福利厚生費	169,427	173,109	△ 3,682
会議費	1,298,419	1,047,300	251,119
旅費交通費	385,146	319,099	66,047
通信運搬費	69,875	63,202	6,673
消耗什器備品費	57,989	66,227	△ 8,238
消耗品費	56,213	41,358	14,855
印刷製本費	207,995	207,491	504
賃借料	79,747	45,425	34,322
租税公課	6,835	6,261	574
支払手数料	27,051	20,769	6,282
雑費	6,928	1,874	5,054
経常費用計	561,952,085	570,338,728	△ 8,386,643
当期経常増減額	2,363,962	1,121,727	1,242,235
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	2,363,962	1,121,727	1,242,235
一般正味財産期首残高	18,976,407	17,854,680	1,121,727
一般正味財産期末残高	21,340,369	18,976,407	2,363,962
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	21,340,369	18,976,407	2,363,962

正味財産増減計算書内訳表

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	2,389		2,389
特定資産受取利息	2,389		2,389
受取会費	7,330,000	7,330,000	14,660,000
受取会費	7,330,000	7,330,000	14,660,000
事業収益	306,626		306,626
事業収益	6,626		6,626
広告収益	300,000		300,000
受取補助金	527,996,000		527,996,000
受取福岡県補助金	527,996,000		527,996,000
受取負担金	21,251,343		21,251,343
受取負担金	21,251,343		21,251,343
雑収益	99,689		99,689
受取預金利息	99,634		99,634
雑収入	55		55
経常収益計	556,986,047	7,330,000	564,316,047
(2) 経常費用			
事業費	557,807,046		557,807,046
役員報酬	13,221,688		13,221,688
給料手当	70,279,191		70,279,191
退職給付費用	701,477		701,477
福利厚生費	9,694,353		9,694,353
旅費交通費	17,955,142		17,955,142
通信運搬費	3,257,523		3,257,523
消耗什器備品費	2,703,403		2,703,403
消耗品費	2,620,618		2,620,618
印刷製本費	9,696,509		9,696,509
賃借料	3,717,725		3,717,725
保険料	120,470		120,470
諸謝金	1,531,648		1,531,648
租税公課	318,645		318,645
支払負担金	2,370,000		2,370,000
支払助成金	1,400,000		1,400,000
委託費	416,634,603		416,634,603
支払手数料	1,261,077		1,261,077
雑費	322,974		322,974
管理費		4,145,039	4,145,039
役員報酬		1,149,712	1,149,712
給料手当		551,760	551,760
退職給付費用		77,942	77,942
福利厚生費		169,427	169,427
会議費		1,298,419	1,298,419
旅費交通費		385,146	385,146
通信運搬費		69,875	69,875
消耗什器備品費		57,989	57,989
消耗品費		56,213	56,213
印刷製本費		207,995	207,995
賃借料		79,747	79,747
租税公課		6,835	6,835
支払手数料		27,051	27,051
雑費		6,928	6,928
経常費用計	557,807,046	4,145,039	561,952,085
当期経常増減額	△ 820,999	3,184,961	2,363,962
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 820,999	3,184,961	2,363,962
一般正味財産期首残高	△ 10,909,749	29,886,156	18,976,407
一般正味財産期末残高	△ 11,730,748	33,071,117	21,340,369
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	△ 11,730,748	33,071,117	21,340,369

財産目録
令和7年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)	現金	手元保管	運転資金として	63,580
	預金	普通預金福岡銀行 博多駅前支店	運転資金として	21,754,474
		普通預金筑邦銀行 福岡支店	運転資金として	2,248,486
		普通預金西日本シ ティ銀行本店	運転資金として	8,004,405
	未収金 前払金			10,910,750 130,900
流動資産合計				43,112,595
(固定資産)				
特定資産	退職給付引当資産		職員に対する退職金の支 払いに備えたもの	9,056,443
固定資産合計				9,056,443
資産合計				52,169,038
(流動負債)				
	未払金		公益目的及び管理目的 の業務に使用する費用	20,378,636
	預り金		保険料等の預かり分	1,393,590
流動負債合計				21,772,226
(固定負債)				
	退職給付引当金		職員に対する退職金の支 払いに備えたもの	9,056,443
固定負債合計				9,056,443
負債合計				30,828,669
正味財産				21,340,369

財務諸表に対する注記 （公社）福岡県観光連盟
令和7年3月31日現在
法人全体

- 1 重要な会計方針
(1) 固定資産の減価償却の方法
①固定資産の減価償却方法は、定率法で行っている。
2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高
基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
小計	0	0	0	0
特定資産				
退職給付引当資産	8,277,024	779,419	0	9,056,443
小計	8,277,024	779,419	0	9,056,443
合計	8,277,024	779,419	0	9,056,443

- 3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳
基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
小計	0	0	0	—
特定資産				
退職給付引当資産	9,056,443	0	0	9,056,443
小計	9,056,443	0	0	9,056,443
合計	9,056,443	0	0	9,056,443

- 4 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高
補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
受取福岡県補助金	福岡県	—	527,996,000	527,996,000	—	
負担金						
受取負担金	福岡県観光推進協議会等	—	21,251,343	21,251,343	—	
合計		—	549,247,343	549,247,343	—	

5 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収金、未払金、未払消費税、預り金を含めている。
なお、前期末及び当期末残高は、下記6に記載するとおりである。

- 6 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳
(単位：円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	33,756,831	32,070,945
未収金	2,656,000	10,910,750
前払金	0	130,900
合計	36,412,831	43,112,595
未払金	16,159,561	20,378,636
預り金	1,276,863	1,393,590
合計	17,436,424	21,772,226
次期繰越収支差額	18,976,407	21,340,369

7 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	8,277,024	779,419	—	—	9,056,443